

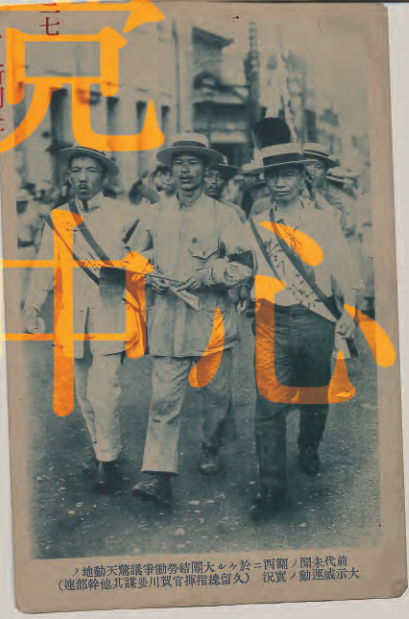
助け合いの心が日本社会を変えろ！ 市民社会と賀川豊彦の友愛精神

楽 濟 同 散

2016年10月29日「土」午後2時〜午後4時30分

明治学院大学 白金キャンパス 二二〇二教室

東京都港区
白金台二二二七



前代主関ノ開ニ於テハ大ニ奮闘シテ其ノ功ヲ建テシキリ
（久松義久君ノ撰述ニ據ルニ其ノ詳ニシテ他ノ詳ニシテ）

共催＝東京基督教大学 共立基督教研究所、明治学院大学キリスト教研究所、賀川豊彦研究プロジェクト、賀川豊彦記念松沢資料館 協賛＝キリスト新聞社
参加費＝無料 申込み＝研究プロジェクト専用サイトより、または共立基督教研究所までお申込みください。↓ <http://www.tci.ac.jp/smj/?p=1313>

パネラー

逢見直人氏「日本労働組合総連合会事務局長」

比嘉政浩氏「全国農業協同組合中央会専務理事」

新井ちとせ氏「日本生活協同組合連合会副会長、生活協同組合コトプみらい理事長」

篠田徹氏「早稲田大学社会科学総合学院教授」

コーディネーター

稲垣久和「東京基督教大学大学院教授」

人 資 非 権 超 政 育

四字熟語は
賀川豊彦による
協同組合の
七〇の中心思想

問い合わせ
東京基督教大学
共立基督教研究所「担当高橋」
〒270-1347
千葉県印西市内野3-301-5
Tel＝0476-46-11137
Tel＝0476-46-11292
Fax＝0476-46-11292
E-mail＝nataka@tci.ac.jp

助け合いの心が日本社会を変える！ 市民社会と賀川豊彦の友愛精神

生協、労組、農協、労働金庫、共済保険……。
私たちの社会の一部となっているこれらの事業や運動に共通するもの、それは次の二点です。

一、助け合いのための組織であること(営利目的でない)
二、社会事業家賀川豊彦が開拓的に関わり推進したこと

資本主義のみならず格差と貧困が今以上に深刻であった大正・昭和前期、賀川は、

日本の相互扶助の伝統を社会的・組織的に促進する協同組合運動を精力的に展開しました。

賀川が始めた事業は大きく成長し、現在、生協の組合員2830万人、労組連合686万人、

農協1027万人と、実に日本人の3分の1以上がこの助け合いの仕組みに加わっていることとなります。

そして近年は、各団体の枠を越えて社会の必要に応える連携も各地で行われています。

グローバル資本主義による格差と分断が国内外で問題となり、その矛盾を乗り越える次の社会が模索されています。

賀川の友愛精神を共通の土台にもつ事業体が連携することは、日本社会にどのような可能性を拓き、

社会を変えていく力になるのでしょうか？



震災後の日本における宗教的ミニストリーの理論と実践

Science for Ministry in Japan
The Theory and Practice of
Christian Ministry in the Face of
Natural Disasters (2014-16)

参加申込

研究プロジェクト専用サイトより
または共立基督教研究所まで
お申込みください。

<http://www.tci.ac.jp/smj/?p=1313>

問い合わせ

共立基督教研究所 [高橋]
〒270-1347 千葉県印西市内野3-301-5
Tel || 0476-46-1137
Fax || 0476-46-1292
E-mail || ntaka@tci.ac.jp

会場アクセス

[明治学院大学 白金キャンパス]
〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

品川駅(高輪口)より徒歩約17分。

または都営バス

「目黒駅前」行き、
「明治学院前」下車。

目黒駅(東口)より徒歩約20分。

または都営バス「大江競馬場前」行き、
「明治学院前」下車。

地下鉄の白金台駅(2番出口)、
白金高輪駅(1番出口)、
高輪駅(A2出口)より、
いずれも徒歩約7分。



2nd. SYMPOSIUM | Science for Ministry in Japan: The Theory and Practice of Christian Ministry in the Face of Natural Disasters



本プロジェクトは米国の
John Templeton Foundation の
助成を受けて行われます。
本プロジェクトの成果として発表される
論文・記事等に表明される
主張・見解は、同財団の主張・見解を
表すものではありません。

This project was made possible
through the support of a grant from
the John Templeton Foundation.
The opinions expressed in this
project are those of the members
and do not necessarily reflect the
views of the John Templeton
Foundation.

パネラー

逢見直人 | おうみ・なおと

日本労働組合総連合会事務局長。1976年一橋大学卒業後、ゼンセン同盟入局。2012年UAゼンセン会長を経て、2015年より現職。学生時代より社会労働問題に関心を持ち、労働組合運動に進む。労働運動の歴史を学ぶ中で、賀川豊彦の生き方に強い共感を覚える。ゼンセン同盟では、大型共済事業の設立、社会貢献活動、震災ボランティア等を実践。労働組合組織の強みを社会活動に生かす活動を行っている。



比嘉政浩 | ひがまさひろ

全国農業協同組合中央会専務理事。京都大学農学部卒業後、1983年4月に全国農業協同組合中央会入会。2006年に総務企画部次長となり、2008年より教育部長、2011年より総務企画部長を務める。2014年に一般社団法人JC総研理事、2015年に同総研常務理事。2015年8月より現職。



新井ちとせ | あらいちとせ

日本生活協同組合連合会副会長。静岡県出身。2005年、生活協同組合さいたまコープ理事。2011年、生活協同組合連合会コープネット事業連合理事(2013年退任)。2013年、生活協同組合コープみらい理事。2013年、日本生活協同組合連合会理事。2014年、日本生活協同組合連合会常任理事。2015年、生活協同組合コープみらい理事長。



篠田徹 | のりだとおる

早稲田大学社会科学総合学術院教授。早稲田大学政治学研究科博士課程中退。北九州大学法学部専任講師、早稲田大学社会科学部助教授、ハーバード大学ライシャワー日本研究所客員研究員などを経て現職。主著に『世紀末の労働運動』(岩波書店)、共編著に『労働と福祉国家の可能性—労働運動再生の国際比較』(ミネルヴァ書房)ほかがある。



稲垣久和 | いながき・ひさかず

東京基督教大学大学院教授、共立基督教研究所長。東京都立大学大学院博士課程後期修了。アムステルダム自由大学哲学部・神学部客員研究員、同客員教授等を経て現職。専攻は公共哲学、キリスト教哲学。著書に『実践の公共哲学』(春秋社)、『公共福祉』という試み』(中央法規出版)、『宗教と公共哲学』(東京大学出版会)、『国家・個人・宗教』(講談社現代新書)、『公共福祉とキリスト教』、『改憲問題とキリスト教』(教文館)ほかがある。

